

・ evening wide ・

すがわらしゅんいちさん個展

わびさび 鉄粉で描く

宮城県利府町の美術家 すがわらしゅんいちさん(49)の個展「鉄で描くわび・さびの世界」が29日まで、仙台市青葉区郷六のそあとの庭で開かれていく。

見る者によってさまざまなイメージを持つだるう。画面の陰影の中に光を表現し、自身の心と向き合うことを促す。

「作品には古里の風土が詰まっている。そっと触れることでぬくもりを感じほしい」と話す。

そあとの庭022(3)98(8)8844。



1994〜2004年に制作した平面作品13点を展示。和紙やキャンバス、合板などの下地に、さび止め剤と鉄粉を吹き付ける独自の技法を使う。海水を吹き掛けたり金泥を混ぜたりすることで時の経過を感じさせる。独特な絵肌を生んでいる。

塩釜市出身。父親が漁船員だったため幼少期から魚市場に出入りした。油絵を描いていたが、人と違う画材を試してみたいと思った時に、魚市場で見た鉄さびのような染みを思い出した。船



すがわらしゅんいちさんの「禪」